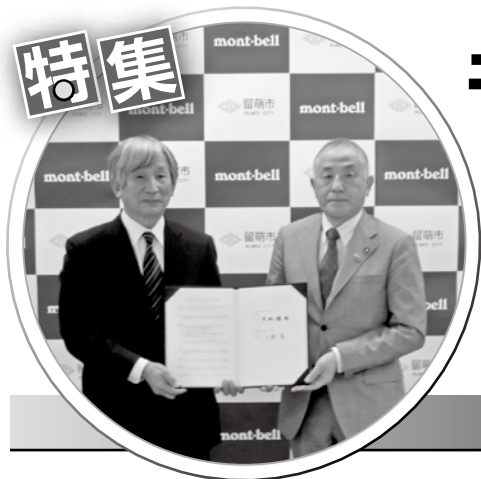


特集



モンベルアウトドアヴィレッジ るもい構想について

留萌市と株式会社モンベルとの包括協定に基づく、「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想」の概要について紹介します。

問 市・政策調整課 TEL 42-1809

構想策定の経緯

留萌市を中核とした留萌管内は、暑寒別天売焼尻国定公園やサロベツ原野をはじめとする雄大な自然資源と、札幌や旭川から半径150km圏内に位置し、高規格幹線道路深川留萌自動車道の全線開通により、道路アクセスが飛躍的に向上し、さらなる誘客への期待が高まっています。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の影響を境に、人々の生活様式、旅行形態、観光スタイルが変化し、これまでの海水浴客中心の体験型観光から、本格的なアウトドア観光を軸とした観光事業の推進に磨きをかけ、恵まれた環境を生かした「稼ぐ観光」にシフトすることが重要であり、観光ステージの大きな転換期に立っています。

「道の駅るもい」が新たな誘客のシンボルとしての役割を担い、「稼ぐインフラ」施設を整備し、民間事業者の参入を図りながら、アウトドアによる観光誘客を「共創」する環境整備や推進に向けて、アウトドアを核とした観光推進の拠点施設となる「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想（素案）」を策定しました。

全体コンセプト

①雄大な自然が楽しめる アウトドア観光拠点づくり

留萌管内には、暑寒別天売焼尻国定公園、天塩川、天売島、日本海オロロンラインのロングサイクルルートなどの唯一無二のアウトドアフィールドがあります。その起点にある留萌市において、アウトドアフィールドの案内や情報発信、アウトドア用品の紹介や購入、体験型コンテンツの企画、運営ができるビジターセンター機能を整備し、市内におけるさまざまなアウトドア・アクティビティを市民も含めて気軽に体験できる環境を整えます。

②道の駅るもいエリアの魅力向上

道の駅るもい及びその背後に広がる船場公園は、国道、高規格幹線道路に隣接する交通の要所に位置します。JR留萌本線の廃線後は、市街地との人の流れが生まれることが期待されます。

7.8haに及ぶ広大な面積を生かし、アウトドア観光の核としてゆっくりと滞在して旅のプランを練ったり、くつろぐことができる上質な空間となるよう魅力向上につなげていきます。

③カーボンニュートラル・ 環境保全意識向上

再生可能エネルギーの活用やトレッキング、アウトドアと絡めた地域での森づくりの推進、風倒木、間伐材などの木質バイオマス資源の有効活用、ログイニングなどの野外スポーツ、脱炭素ポイントを付与することにより、るもい型のエコで幅広い年齢層が自然を体感できる取り組みを進めていきます。

④7つのミッションを実践できる施設

モンベルが掲げるアウトドア・アクティビティが持つ社会的使命として、7項目を実践できる施設を目指します。

- (1) 自然体験の促進による環境保全意識の醸成
- (2) 野外体験を通じて生きる力をはぐくむ
- (3) 自然体験の促進による健康増進
- (4) 防災意識と災害対応力の向上
- (5) エコツーリズムの促進による地域経済の活性化
- (6) 農林水産業の活性化
- (7) 高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進

施設イメージとゾーニングのイメージ(案)

①アウトドア・アクティビティ拠点施設

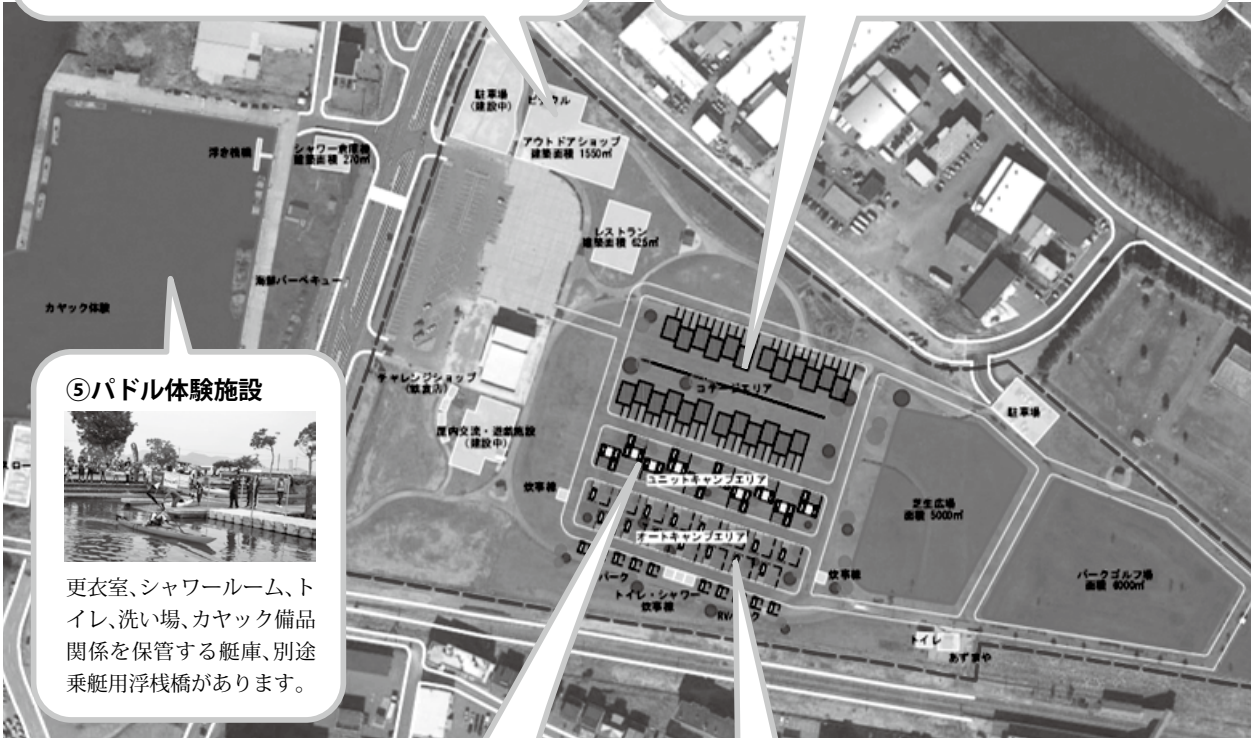


アウトドア観光案内、宿泊受付、ピナクル（クライミング体験）、アウトドア関連商品（登山、キャンプ、カヤック、サイクリング等）の展示、販売のほか、機能性の高い農業、林業、漁業者向けの作業着も取扱うなど、フルラインナップでの店舗構成とします。

②コテージ棟



- ・ベッドルーム2名用×2部屋
 - ・リビングダイニング
 - ・簡易キッチントイレ
 - ・シャワー
 - ・BBQができるデッキテラス
 - ・テントが設置できる前庭
 - ・各棟に駐車場
- 収容定員：4～6人/1室

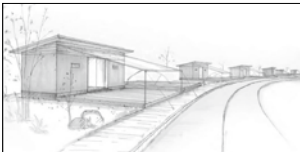


⑤パドル体験施設



更衣室、シャワールーム、トイレ、洗い場、カヤック備品関係を保管する艇庫、別途乗艇用浮桟橋があります。

③ユニット型キャンプ施設



調理場、倉庫、シャワー、トイレ、更衣室がある小屋型。倉庫内には、テント、タープ、焚火台、調理器具等のレンタル品を常設。ウッドデッキ上でテントを張り宿泊。普通駐車場2台分のスペースがあります。

調理場、倉庫、シャワー、トイレ、更衣室がある小屋型。倉庫内には、テント、タープ、焚火台、調理器具等のレンタル品を常設。ウッドデッキ上でテントを張り宿泊。普通駐車場2台分のスペースがあります。

④デイキャンプ施設



周辺への植樹、植栽を施すことで、公園とは違った異空間を街なかの公園内に演出します。

オートキャンプサイトを15サイト、RVパーク(電源機能付き)を10サイト、また、デイキャンプ用に炊事棟2か所、トイレ、シャワー兼用の炊事棟1か所を設置します。

施設イメージとゾーニングイメージについては、現在、本構想について、概算事業費の算出、事業の可能性や課題などを調査しており、その内容を踏まえ、今後協議していきます。

モンベルアウトドアヴィレッジ構想素案につきましては、市・政策調整課ホームページ (<https://www.e-rumoi.jp/seisaku/>) でもご覧いただけます。

留萌市 政策調整課

検 索



市・政策調整課 ▼

